

校長室だより 第四号

2017.7.20

「意欲あふれる社会人になろう」

「やる気を持ち、努力を続け、自信を持つ」

どうする

この便りの内容を書く前に、二週間前に起きた九州北部豪雨災害でお亡くなりになられた方々の冥福をお祈りすることも、被災された復興に尽くされている方々が早く普段の生活をとり戻せるように願います。自分たちにも何かできることがあれば考えて行動してみましよう。

昨日、梅雨明けが気象庁より近畿地方に発表されました。いよいよ、夏本番がやってきました。夏と言われて君たちは何を連想しますか。いろいろな思い浮かぶと思いますが君たちの一番多

い答えは「夏休み」でしょうね。今年の休みは42日間。明日からです。

その前に、しがりやと振り返りてみましよう。4月10日北中丸は520人を乗せて出港しました。その日から私は、常々「やる気」をしがりやとアそれを大きくしていってほしいと伝えてきました。今、1学期が終わる今日、もう一度よく思い出して考えてみてください。過去には戻れませんが、その経験を自分自身で生かしていくことはできます。私を感じるのに、大きな行事としては、1年生は、一泊二日の貝塚市少年自然の家での宿泊校外学習。2年生は、二日間の職業体験学習。3年生は、一泊三日の修学旅行、君たち一人ひとりの取り組みで大きな成果を遂げて、学校生活などで生かせることをたくさん学び、実践し君たちは成長できたと思います。みなさんはどうですか、継続できて大きくなってきたものはさらに成長させられるように。途中で挫折して

またものは、その原因を考えてもう一度続けられるように、または新たな「やる気」を育ててみてください。

その良き機会がこの夏休みだと思えます。しがりやと「やる気」の目標は立ててください。それと同時にルーティンを大切に、取り組んでください。朝早く起きて、夜は早く就寝する。決めた時間（時間）にしかパソコンやゲームはおこなわない学習、読書は必ずこの時間には行うなど。私はこの夏、午前5時までには起きて、夜は午後7時までには就寝し、最低7時間の読書はおこなった。本を最低15冊は読むという日課、目標を立てました。

特に3年生にとっては大切な夏休みになると思えます。この夏休みが明けた9月1日に一回りも二回りも成長を遂げた君たちには会うことを楽しみにしています。



体験して
はじめて
自分
だ
あ